

七ヶ宿町 「七ヶ宿町コミュニティ・スクール推進フォーラム」

○市町名 七ヶ宿町

○主催 七ヶ宿町教育委員会
七ヶ宿町学校運営協議会

○主管 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校・中学校

○期日 令和4年11月21日(月)

○会場 七ヶ宿町活性化センター

○目的

子供を中心に学校、保護者、地域の連携・協働によって学校のみらいと七ヶ宿町のみらいを創造する。

○参加者(参加団体)

- ①七ヶ宿小学校教職員, 保護者
- ②七ヶ宿中学校教職員, 保護者
- ③管内小中学校の教職員
- ④七ヶ宿町教育委員
- ⑤七ヶ宿町まちづくり株式会社
- ⑥七ヶ宿町教育推進協議会
- ⑦七ヶ宿中学校スキー部外部コーチ
- ⑧七ヶ宿町ふるさと振興課
- ⑨七ヶ宿町農林建設課
- ⑩七ヶ宿町議会総務文教常任委員
- ⑪七ヶ宿町社会教育委員
- ⑫七ヶ宿町地域おこし協力隊



○講師・ファシリテーター

講演会

「学校・家庭・地域が共に育む将来の担い手」

講師 岐阜県白川村教育委員会事務局
社会教育主事 新谷さゆり 氏

ワークショップ

「子どもたちとつくる魅力ある学校と地域」

ファシリテーター

七ヶ宿町教育委員会学び支援係

主事(社会教育主事) 佐藤深奈美 氏



○参加者の声

・講演では、家庭サポート部の具体的な取組として、自分みつめシートのマイロッカー等が生徒の自己理解、興味・関心を更に深める手法として参考になりました。また、ワークショップでは、子供が自分のしたいことを発信する機会を設けたり、地域での子供の活躍を記録に残したり、大人たちも地域の魅力を知るために子供と研修会に参加したりと、様々な有意義な意見を共有することができました。

・自分の立場から子供たちに対して、どんなことをしたら良いのかということについて改めて考える機会になりました。また、話し合いをとおして、他の立場の方々の意見に耳を傾けるということは、自分の考えを再構築するのに大切であるということを感じました。

・地域の声を聞くことだけでも参考になりました。それに加えて子供のためにという想いは保護者、地域、学校それぞれ同じ想いだと再確認しました。地域の方々と共に一つの行事をつくる経験も必要かと思えます。

・地域と学校と子供がお互いを知り、協力できることを探し合うための場が必要だと感じました。知り合っ、課題や協力してほしいこと、やりたいこと等をテーブルに出して、どこからやるか考えてみたいと思いました。ただし、みんなが目指す目標と、それに向かう目的が先とのことでしたので、そういったことを考える場作りが先になるのかもしれませんが、でも、どうすれば良いかは分かりません。



・講演の内容が興味深く、自分が勤める学校にどのように落とし込むかを考えながら聞くことができました。「真似できることから真似する。」「持続可能だけれど、必要がなくなったらやめる。」それぐらいの気持ちでコミュニティ・スクールの活動に取り組んでいけばいいのかと思えます。

ワークショップでは、様々な立場の方とお話ができ、とても有意義な時間になりました。地域で子供を育てることに対して、特に関心の高い人たちだということはあると思いますが、このようなグループワークを、近々勤務している学校での学校運営協議会で行うので、どんなワークショップになるか楽しみです。

○講師から

・学校関係者以外の方がこれだけ集まってワークショップができることが大変素晴らしいと思います。白川村でも同じようにできるよう参考にしたいです。

・移住者が多くなってきていることはチャンスと捉え、新たな企画を作っていくことが、担い手育てに繋がっていくと思います。

岐阜県白川村教育委員会事務局

社会教育主事 新谷さゆり 氏



○教育事務所から

「子どもたちとつくる学校と七ヶ宿町の未来」と題して行われたフォーラムには、64名の来場者があり、学校関係者だけでなく様々な立場の地域の方々が集まりました。岐阜県白川村の先進事例に学ぶだけでなく、子供たちと一緒に魅力的な学校や地域をどのように構築していくか、次代の担い手である児童・生徒を育成するために、地域社会や大人がどのような意識を共有すべきかについて、熱心な協議が行われました。

七ヶ宿町は、「地域と一体となった取組」として、「小・中学校の一貫志教育」「あいさつの活性化」「読書活動の推進」に取り組んでいます。学校運営協議会における活発な熟議と、地域学校協働活動の一層の充実が実現し、より家庭・地域・学校、そして子供たちの思いや活動が一体となって展開されることを期待しております。